

PRIMERGY CX400 M4 / CX2550 M5 / CX2560 M5 / CX2570 M5 ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY CX400 M4/ CX2550 M5 / CX2560 M5 / CX2570 M5 に関して、以下の留意・注意事項がございます。
製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2021 年 9 月
富士通株式会社

(1) Sub NUMA Clustering 機能有効時の Linux ログについて

Linux をご使用時に BIOS 設定の[Configuration]-[CPU Configuration]-[Sub NUMA Clustering]で Sub NUMA Clustering 機能を有効にした場合、コンソールおよびシステムログ (/var/log/messages) に以下に関連した Call Trace メッセージが出力されますが、動作上影響ありませんので、そのままご使用ください。

"WARNING: at arch/x86/kernel/smpboot.c:XXX topology_sane.isra"

(2) ServerView Operations Manager での OP HFI カード情報表示について

ServerView Operations Manager で OP HFI カード (PY-HF301/PYBHF301) の情報が一部表示されません (Adapter Model, Bus Type & No, Slot Number, Function, IRQ が N/A と表示されます)。iRMC Web インターフェースでは情報が表示されますので iRMC Web インターフェースをご使用ください。

(3) PY-LA3D2/PYBLA3D2L の仮想 MAC アドレス表示について

PY-LA3D2/PYBLA3D2L に仮想 MAC アドレスを割り当てた際に、仮想 MAC アドレスが BIOS 画面の BootOrder メニューに正しく表示されません。仮想 MAC アドレスは iRMC Web インターフェース画面に正しく表示されるので iRMC Web インターフェース画面から確認してください。

(4) OP HFI カードの OS ブートについて

OP HFI カード (PY-HF301/PYBHF301) を OS ブートデバイスとしてご使用することはできません。

(5) RHEL7 起動時のログについて

RHEL7 起動時に /var/log/messages に下記メッセージがログされますが、システムの動作には影響ありませんので、そのままご使用ください。

Family 6 Model 55 CPU: only decoding architectural errors

(6) M.2 Flash モジュールご使用時の RHEL7 のログについて

M.2 Flash モジュールから RHEL7 を起動した場合、起動時に /var/log/messages に下記メッセージがログされますが、システムの動作には影響ありませんので、そのままご使用ください。

ata3.00: READ LOG DMA EXT failed, trying unqueued

ata3.00: failed to get NCQ Send/Recv Log Emask 0x1

(7) PRIMERGY CX2550 M5 (空冷) および CX2560 M5 (空冷) の室温環境について

① TDP 140W 以下の CPU を搭載した場合

内蔵ストレージに HDD を搭載する場合、吸気温度 (PRIMERGY CX400 M4 シャーシの吸気温度) 30 度以下でご使用ください。(※内蔵ストレージに SSD を搭載する場合は 35 度以下で使用できます)

② TDP 150W 以上の CPU を搭載した場合

内蔵ストレージに HDD を搭載することはできません。内蔵ストレージに SSD を搭載する場合、吸気温度 (PRIMERGY CX400 M4 シャーシの吸気温度) 30 度以下でご使用ください。

	HDD 搭載	SSD 搭載	HDD/SSD 未搭載
TDP 140W 以下	30 度以下	35 度以下	35 度以下
TDP 150W 以上	—	30 度以下	30 度以下

(8) TDP 140W 以上の CPU をご使用の場合について(空冷のみ)

CPU 負荷が非常に高い状態の場合において、性能に影響を及ぼさないような非常に短時間の CPU サーマルスロットリングが発生することがあります (OS のメッセージに CPU サーマルスロットリングのログが記録されます)。

(9) TPM を使用したセキュアブートについて

TPM を使用したセキュアブートはご使用になれません。

(10) M.2 Flash モジュールのオンボードソフトウェア RAID について

M.2 Flash モジュールはオンボードソフトウェア RAID で使用できません。BIOS 設定の[Configuration]-[SATA Configuration]-[SATA Mode]は“AHCI” (デフォルト) 設定でご使用ください。

(11) ラック搭載について

本装置の最大質量は 52Kg (ラックレール含む) です。搭載するラックの搭載可能質量を超えないようご注意ください。

(12) BIOS モードについて

本装置では、BIOS のデフォルト設定はUEFI モード設定です。UEFI モードまたはLegacy モードの設定はBIOS 設定メニューで行います。ただし CSM Configuration を”Enable”にしてのご使用はできません。設定値を”Disabled”に設定してご使用ください。

Configuration - CSM Configuration

設定項目	ご購入時設定	備考
Launch CSM	Disabled	UEFI モードでの起動

(13) UEFI モードについて

UEFI モードの設定方法や OS およびオプションのサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/>

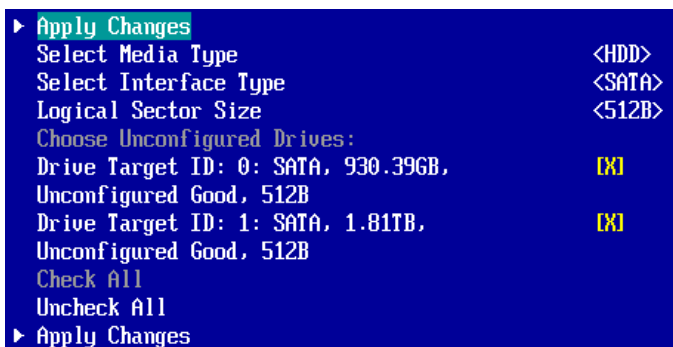
(14) サーバノード搭載位置について

PRIMERGY CX2550 M5、CX2560 M5、CX2570 M5 サーバノードの搭載位置(サーバノードベイ)を変更しないでください。変更するとシャーシ前面の ID カード情報と整合性が取れなくなり保守作業ができなくなります。

(15) オンボードソフトウェア RAID のユーザーマニュアルについて

オンボードソフトウェア RAID について PRIMERGY CX2550 M5、CX2560 M5、CX2570 M5 固有の設定表示項目があるため、「Embedded MegaRAID ユーザーズガイド」の記載とは異なる部分があります。

- ① 本体 BIOS メニュー名称について(p.59～p.61)
誤) Advanced
正) Configuration
- ② 「Select Virtual Drive Operations」配下の設定項目名称について(p.65)
誤) Check Consistency
正) Make Data Consistency
- ③ 「Select Drives」メニューで選択されたドライブの表記について(p.69)
誤) [Enabled]
正) [X]



```
► Apply Changes
Select Media Type           <HDD>
Select Interface Type       <SATA>
Logical Sector Size         <512B>
Choose Unconfigured Drives:
Drive Target ID: 0: SATA, 930.39GB, [X]
Unconfigured Good, 512B
Drive Target ID: 1: SATA, 1.81TB, [X]
Unconfigured Good, 512B
Check All
Uncheck All
► Apply Changes
```

(16) 冷却ファン/電源ユニット/環境温度の異常通知について

冷却ファン、電源ユニット、環境温度に異常が発生した場合、搭載されているすべてのサーボノードで異常を通知します。

(17) 省電力動作モードを使用時の注意事項について

省電力動作モードを有効にしてご使用の場合、稀に、CPU IERR, PSOD, Fatal NMI といったシステムダウンが発生することがあります。

(ただし、ハードウェア故障や BIOS 版数が低い場合を除きます)

BIOS 設定の[Configuration]-[CPU Configuration]-[Power Technology]を“Custom” (初期設定値 : Energy Efficient)にし、下記のように設定してご使用ください。

- | | | | |
|----------------------------------|---|------------|--------------------|
| • Enhanced Speedstep | : | “Disabled” | (初期設定値 : Enabled) |
| • Turbo Mode | : | “Disabled” | (初期設定値 : Enabled) |
| • Override OS Energy Performance | : | “Enabled” | (初期設定値 : Disabled) |
| • CPU C1E Support | : | “Disabled” | (初期設定値 : Enabled) |
| • CPU C6 Report | : | “Disabled” | (初期設定値 : Enabled) |
| • Package C State limit | : | “C0” | (初期設定値 : C6) |

ご使用の OS が Linux の場合は、あわせてカーネルパラメータの追記が必要です。

Red Hat Enterprise Linux 7、Red Hat Enterprise Linux 8 の場合 :

- ① /etc/default/grub の GRUB_CMDLINE_LINUX 行に
“intel_idle.max_cstate=0 processor.max_cstate=0” を追記してください。
- ② 以下コマンドを実行し設定値を反映
 - BIOS モードの場合
grub2-mkconfig -o /boot/grub2/grub.cfg
 - UEFI モードの場合
grub2-mkconfig -o /boot/efi/EFI/redhat/grub.cfg※使用環境によって実行するコマンドに差があります。
- ③ システムを再起動し、設定を反映させてください。

SUSE Linux Enterprise Server 12、SUSE Linux Enterprise Server 15 の場合 :

- ① /etc/default/grub の GRUB_CMDLINE_LINUX 行に
“intel_idle.max_cstate=0 processor.max_cstate=0” を追記してください。
- ② 以下コマンドを実行し設定値を反映
 - BIOS モード/UEFI モード共に
grub2-mkconfig -o /boot/grub2/grub.cfg※使用環境によって実行するコマンドに差があります。
- ③ システムを再起動し、設定を反映させてください。

(18) iRMC Web UI からの core dump 使用について

iRMC Web UI からの core dump はご使用できません。

(19) Red Hat 7.6 使用時のオンボードソフトウェア RAID 使用について

Red Hat 7.6 をご使用の際はオンボードソフトウェア RAID をご使用になれません。BIOS 設定の[Configuration]-[SATA Configuration]-[SATA Mode]は“AHCI”（デフォルト）設定でご使用ください。

(20) BIOS メニューからの BIOS/iRMC 初期化について

BIOS メニューより BIOS/iRMC の設定値を初期化した際に一部設定値が本装置の環境設定シートに記載されている”ご購入時設定”と異なる場合があります。異なる箇所については本装置環境設定シートをご参照ください。

(21) メモリ交換時の留意について

メモリを交換、増設する際には、接触不良等を避けるため、メモリスロットに一度搭載しロックをかけたのち、再度ロックを外してメモリを搭載しなおしてください。その際、ロックをかけた後、メモリスロットの赤矢印部分が一列になっており、開いていないことを確認してください。



(22) Intel VMD 機能について

BIOS 設定の[Configuration]-[VMD Configuration]-[CPU 2 - Root Port 3]における “Enabled”設定はご使用になれません。

(23) DCPMM について

下記 DCPMM は、BIOS 1.10.0 および iRMC ファームウェア 2.50P 以降でご使用できます。

メモリ-128GB(128GB 2666 DCPMM × 1) [PY-ME12PA1/PYBME12PA1]

メモリ-256GB(256GB 2666 DCPMM × 1) [PY-ME25PA1/PYBME25PA1]

メモリ-512GB(512GB 2666 DCPMM × 1) [PY-ME51PA1/PYBME51PA1]

メモリ-256GB(128GB 2666 DCPMM × 2) [PYBME25PAA]

メモリ-512GB(256GB 2666 DCPMM × 2) [PYBME51PAA]

メモリ-1TB(512GB 2666 DCPMM × 2) [PYBME1TPAA]

(24) iRMC Web UI 上に表示される NVMe SSD(内蔵 2.5 インチ PCIe SSD)の情報について

iRMC Web UI メニュー [Mass Storage] – [Storage Controllers] – [Physical Disks] に表示される情報において、一部の NVMe SSD で寿命予測および Slot 番号等の情報が正しく表示されない場合があります。

NVMe SSD の寿命確認方法については、下記リンクを参照ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/support/parts/pdf/pcie-ssd-pP3700-p4600-p4501-write-endurance.pdf>

(25) iRMC 2.66P におけるバックエンドエラー表示について

iRMC Web インターフェース画面ログイン時や予期せぬタイミングで右上に下記のメッセージが表示される可能性があります。メッセージは右上に表示されたままになりますが、3 秒で表示が消えます。その場合でも動作に支障はありません。iRMC Web インターフェース画面が正しく表示されていない場合、ブラウザの再読み込みやブラウザの変更を実施してください。

緑色メッセージ:「一時的なファームウェア内部エラーが発生しました。データが不完全な可能性があります。Web ページを再読み込みして下さい」

(26) LAN カード(10GBASE-T) (PY*LA2012 / PYBLA201L2) Intel I210-T1 相当品 および Dual port LAN カード(10GBASE-T) (PY*LA3423 / PYBLA342L3) Intel X710-T2L 相当品のご使用上の注意・留意事項について

(1) iRMC Web に以下の情報が表示されません。

- コントローラ情報(コントローラ名/ファームウェア版数)
- ファンクション情報(MAC アドレス/Speed など)

また、iRMC でリンクステータス監視が出来ませんので、OS 上で監視して下さい。

(2) eIOV (FUJITSU Software Infrastructure Manager の仮想 IO 管理機能)は使用できません。

修正・対策済となった項目

[修正済み] IPv6 Network Configuration 設定について

BIOS 設定の[Configuration]-[Network Device List]-[IPv6 Network Configuration]-"DAD Transmit Count"および"Policy"は、初期値のままご使用ください。

BIOS1.4.0 以前では値を変更すると、BIOS 設定の[Exit]-[Restore Defaults]によって設定値を初期化することができません。これらの項目の設定値を変更したい場合は、その項目の設定値を直接変更ください。

⇒ BIOS 1.6.0 以降では本メニューはありません。初期値のままご使用ください。

[修正済み] Intel Speed Select CPU 搭載時の留意

Intel Speed Select 機能を持つ CPU 搭載時に、BIOS 設定の[Configuration]-[CPU Configuration]-[Active Core Proccecer]は設定値"All"以外を設定できません。当該 CPU を搭載の場合は設定値を"All"にしてご使用ください。

⇒ BIOS 1.6.0 で修正されました。

[修正済み] Linux OS を用いた PXE ブートについて

本装置を BIOS1.6.0 が適用され、UEFI 設定としている場合、Linux OS 運用時における PXE ブートはご利用いただけません。~~本制限は BIOS 1.8.0 によって解除予定であり、また BIOS 1.8.0 は 2019 年 7 月に公開予定です。~~

⇒ BIOS 1.8.0 で修正されました。

－以上－